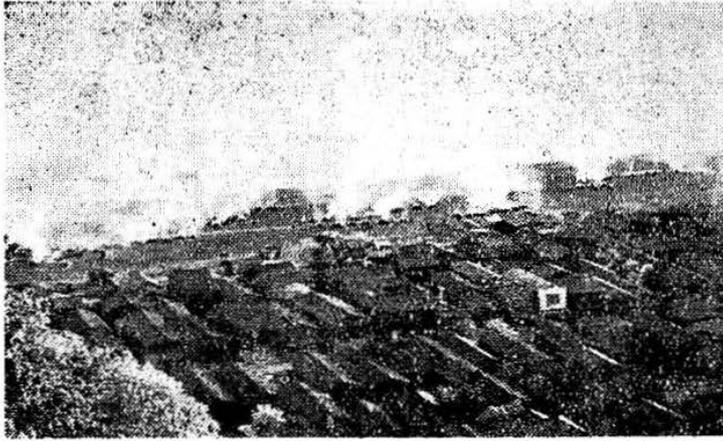


朝日町観光写真展

推薦

わかめ灰造り

竹内文紀氏



第27号 二刷日 20日 大菅越月 20日 行場所 日 兼代 刷行 部 6 編集日 印刷行 部 1 編朝印 価 定

一〇月二日 朝日地区畜産振興会 主催による家畜共進 会を小川中学校庭に おいて開催さる 町民体育大会打合せ 会開催

二二日 泊病院組合議会 昭和三十一年度決算 認定の件等について 午前農委農地部会午 後農委農地部会開催 厚生寮事務監査 例会会計検査 議会経済委員会 入湯税等の件につい て審議 土地改良区理事長会 流水客土事業等につ いて協議 議会文厚委員会 国保第二回追加更正 予算その他について 審議 議会総務委員会 第一回追加更正予算 その他について審議 地区遺族会長会議開 催 午前十時より文厚委 員会 午後二時より第九回 臨時町議会 消防分団長会議を消 防署会議室において 開催 秋季消防演習の件及 び秋季火災予防運動 について協議 町民体育大会打合せ 会開催 第四回朝日町民体育 大会開催、好天に恵 る 舟見中学校創立十周 年記念式典 町議文厚委員会開催 国体グラウンド工事入 札の打合せ 秋季消防演習行わる 小川中学校創校五十 周年記念式典 農林産物品評会農業 センターにおいて開 催

議案第五号 正予算 昭和三十一年度朝日町 国民健康保険直営大家 庄診療所特別会計歳入 歳出第一回追加更正予 算 議案第六号 同、笹川診療所特別会 計歳入歳出第一回追加 更正予算 議案第七号 同、境診療所特別会計 歳入歳出第一回追加更 正予算 議案第八号 昭和三十一年度朝日町 議入歳出第一回追加更 正予算 議案第九号 朝日町財政再建計画の 一部変更の件 (歳入歳出年次計画、 現過年度調定分の税の 徴収計画、税滞納整理 計画) 議案第十号 昭和三十一年度朝日町 議入歳出第一回追加更 正予算 議案第十一号 昭和三十一年度朝日町 簡易水道管理費特別会 計歳入歳出第一回追加 更正予算 議案第十二号 昭和三十一年度朝日町 国民健康保険特別会計 議入歳出第二回追加更 正予算

全国火災予防運動

消防署

いよ／＼火事の多い時季になりました、本町でも最近一ヶ月ばかりの間に五回もの出火さわきです。それで十一月末から一週間防火週間に入り、「火の用心」を一そう嚴重にしようとする運動が全国一斉に行なわれます。 「早い通報、少い損害」 もし出火したら早く消防に知らせよう、そして少い損害で終らせよう。これが今度の週間で強く叫ばれる標語となつています。幸い本町では最近特に此の趣旨が徹底されてきて消防署への報らせが非常に早くされるのと附近の人達の出火に協力下さるお蔭で何れも大きな火災にならないで済んでいます。 ことつ、煙突附近、農家で多い取灰からの出火等がこれから多い火事の原因です。 原因ですから特に注意しなければなりません。その他火を使う所や器具はもう一度よく調べて悪いところはすぐ直して使ひましょう。 電気器具は必ず▽のマークのあるものを使用しなければなりません。又ビニール被覆のコードはねずみが好んでかじりますから平常目につかない所に使つてある場合は時々点検が必要です。 十一月二十六日から十二月二日までの本運動週間は朝七時と晩の九時にサイレンがなります。又署員、団員が各職場や家庭の予防査察に廻りますから一諸によく点検して御宅を守りましょう。火災予防運動実施期間中のサイレン吹鳴方法。 鳴十五秒 鳴十五秒 鳴十五秒 休六秒 休六秒

公明選挙ポスター

応募作品

第一審査入賞者

さきに募集しました公明選挙ポスター作品について県選挙管理委員会の審査の結果、朝日町において左記の者が入賞されましたのでお喜び申し上げます。

- 一、入選
 - 五箇庄小学校五年 筒井みどり
 - 西田須美枝
 - 泊 小学校五年 柳下 和子
 - 二、佳作
 - 五箇庄小学校四年 荒尾 哲子
 - 山崎小学校五年 七沢真由美

(朝日町選挙管理委員会)

所得税

第二期分納期は十一月一日から十一月三十日までです。期限内に遅れなよう早目に完納して下さい。(魚津税務署)

受付 自11月20日(水) 至11月11日(土)

自衛官募集

昭和33年3月1日現在18才以上25才未満の男子で日本国籍を有する者。詳細については役場総務課又は地方連絡部へ問合せ下さい。

鳥獣禁猟区指定申請中のところ城山周辺三百余町歩が禁猟区として指定されました。学術的教育資料として特に珍らしい鳥獣二〇〇余種類が棲んでいるのであります。

城山禁猟区見取図



財政事情公表

まえがき

昭和二十九年八月一日を機として旧泊区域のうち八ヶ町村が大同合併をして新人口二四、二五六人面積四二四、八二方軒県下有数の大町として発足してから早くも満三ヶ年を経ましてその間多少迂余曲折はあつたものの新しい町造りのための種々の事業が行われ、大朝日町の形態が年と共に整えられてゆくことは誠に喜ばしい限りであります。こゝに合併後の町財政の歩みを皆様に御知らせしてよく理解していただき今後の財政運営に御協力を御願ひする次第であります。

合併後の決算及び昭和三十一年度予算について

昭和二十九年年度、合併の行われた年であり、合併が年度中途であつたため非常に複雑な状況のもとに財政運営がなされておりました。合併前の旧町村との関係もあり、総べてにおいて一貫性を保てぬ事情もあつたが、次年度以降に比し、消費的経費においては合併関係費用等により一〇〇〇万円の増額を見ており、投資的経費においても、関係旧町村との間の関連した事業並びに新町建設のための諸事業が、急速に実施されたことにより約二、〇〇〇万円の増となつております。

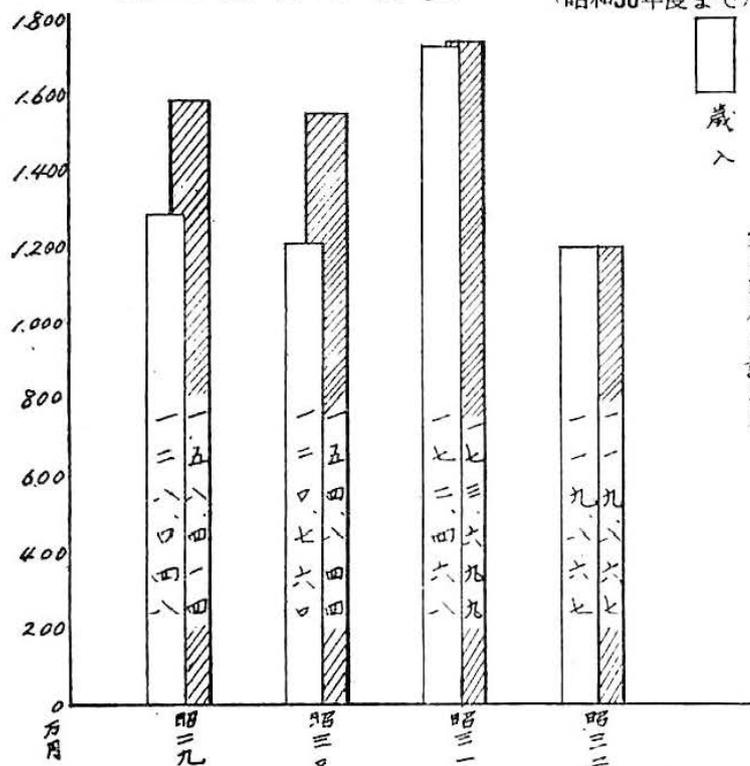
これ等は勿論合併当初における一時的な財政需要の膨張ではありましようが合併の際に持寄つた許可外負債と共に赤字財政の要因ともなつていたのであります。

昭和三十年年度、このようにして合併初年度に赤字が発生した上に更に昭和三十年度にかけて地元立替金等の名目により種々の事業が行われこれがまた赤字を作る原因ともなり、赤字の上に赤字を重ねる所以となりました。

一方赤字の累増と共に資金の操作は段々と難しくなり殊に国の金融引締政策に伴い全く行詰る状態となることもあり、このまゝでは到底今後の財政運営が続けられないことが痛

歳入歳出の状況

(昭和29年度から昭和30年度)

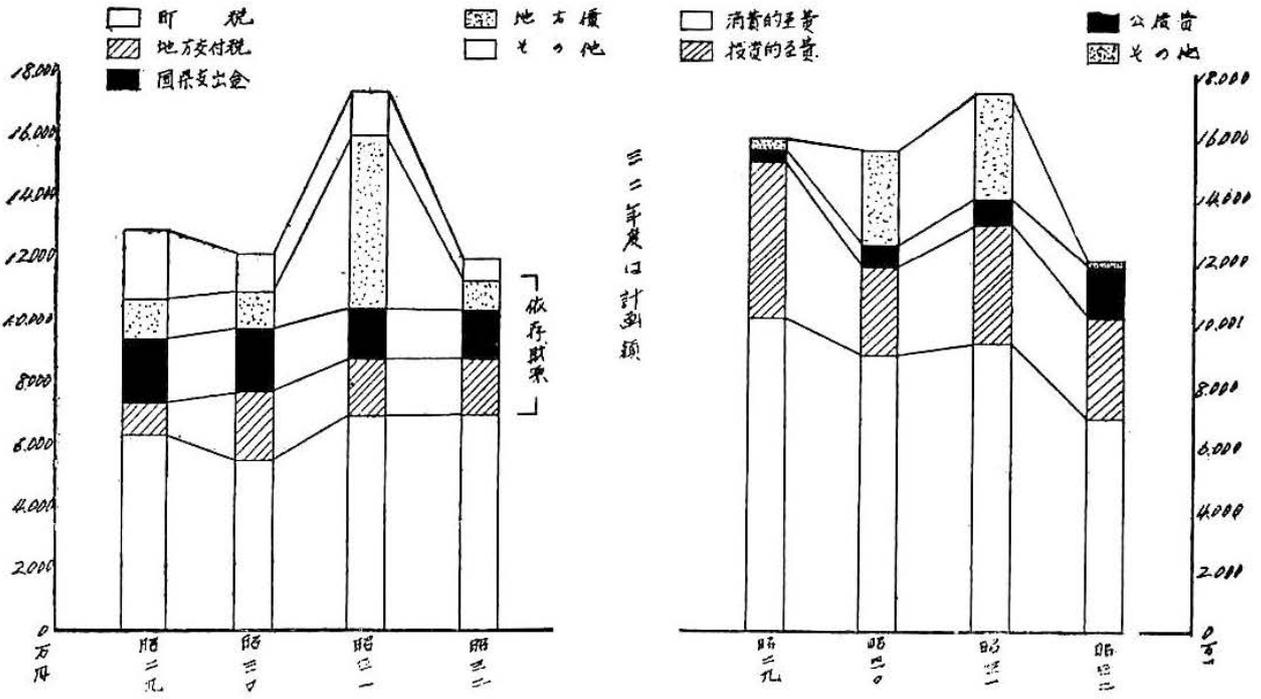


て機構の改革、人員の整理を断行し同九月には宮崎支所を廃止する等、極力消費的内部管理事務の簡素化を図り経費の節減に努めたが、歳入の面において、税制の改革により、電力関係償却資産に係る固定資産税の配分が一、四〇〇万円程度減少することゝなつたため年度末においては却つて赤字が増える現象となり資金繰りは感々困難を極め町財政の健全化はゆるがせにできない急務となつたのであります。

昭和三十一年度、さてこのような状況となつて参りましたのは一人我が朝日町だけではなく、全国的にも地方財政が逼迫し財政的に破綻寸前の団体も数多くできたところから、国家行政の基盤である地方自治体の財政再建と云うことが重要な国の施策

歳入構成

歳出構成



として取り上げられ昭和三十年十二月に地方財政再建促進特別措置法が公布されましたことにより我が町もまたこれを機会に積極的に町財政の健全化を図ることとなり、国の施策

と相呼応して昭和三十一年五月に財政再建計画を策定致しまして「単年度に赤字を出さないことを基本方針に既にできた赤字については再建債に借替えて爾後八年度間に償還する

こととし、再建債の対象外となつた許可外負債の一部についてもそれ〴〵確実な償還の方法を樹て消費的経費については全国水準以下に引下げ、投資的経費についても財源の許す範囲に止める外、税及税外収入の確保についてはもとより依存財源の過大な見積りを避け、自主財源に重点を置いて町財政を建直すことになつた」以下町財政の運営は再建計画に基づいて行われることになつたのであります。昭和三十一年度はその初年度でありましたが、前年度に比べ歳入については、税収において課税客体的確実把握と、滞納整理等による徴収歩合の引上げ及町民税均等割の引上げ等により一、四一五万円の増収となつており、地方交付税におおいては、税収の關係及び合併による特別交付税の漸減で五四二万円の減額、国庫支出金においては制度の改正、補助事業等の關係により二六九万円の減額となつております。その外はそれ〴〵使用目的に応じた増減で、地方債において本年度のみ財政再建債が四、八〇〇万円増加しております。

歳出については消費的経費において、人件費で四六一万円、物件費で七〇七万円の節減となつており、その他許可外負債の一部一、四二六万円の償還を見ております。投資的経費においては、新町建設の事業もあり、財源の許す限りこれに充てることとしたため、一、七九八万円の増となつておりますが、年度全体を通じ収入の確保と、諸経費の節約により、計画赤字二九一万円を一一三万円に縮小致しましたことはまことに幸先のよいこと、云はねばなりません。

昭和三十一年度、再建第二年度を迎えて事実上計画が軌道に乗つた年度

であります。当初予算については本誌四月号で発表しておりますので省略することとし、その後十月末には本年度第一回の追加更正予算を行い、町税においては、入湯税を法の改正に依り普通税から目的税に組替え、交付金、納付金及び電気ガス税の増及水利地益税の減額を見込んで一二〇万円の増となり地方交付税では、給与改定財源等の増額により二四三万円追加し、分担金負担金、国庫支出金、寄附金、地方債においては、物件費及び投資的経費に伴う特定財源の増減を見込んだが、地方財政法の改正により、今回から特別会計により、処理されることとなつた。簡易水道事業費を減額特別会計としたことにより合計において一五二万円の減となつた。歳出については人件費で九月末に行われた人員整理に伴う減額職員給与改定による増額及び退職手当一八〇万円を見込んで、三四二万円を追加し、物件費では、燃料及び旅費の値上り分を最

昭和三十一年度予算現額は一〇、九一七万円となり、外に簡易水道特別会計分一、〇〇四万円を一応加えて

少限度に見込み、金庫事務手数料及び特定財源の増額に伴うものを加えて二一〇万円の追加となり、その他では、舟見中学校組合の負担金、許可外負債の一部償還費を見込み、野中用水組合負担金を減額して、一九万円を減額し、投資的経費では補助事業で山崎小学校改築費、小型動力ポンプ購入費、耕地災害復旧事業費等を増額し、簡易水道事業の分を特別会計として、五九二万円を減額し単独事業で道路改良事業、宮崎駅敷地買収事業、教育施設整備事業、観光施設整備事業等のため二三〇万円を追加した。

公債費では金利引下げにより減額する分五万円及一時借入金利子の不用額八五万円を減額し、その他は前年度繰上充用金に一一三万円、簡易水道事業特別会計繰出金五四万円を追加し予備費を四〇九万円減額して合計一五一万円の減となつた。

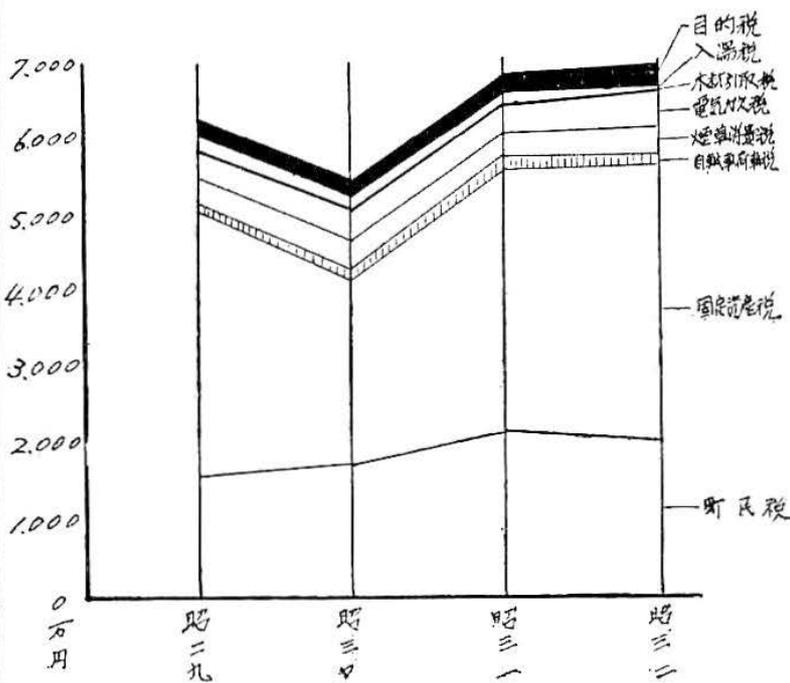
昭和三十一年度第一回更正予算	
歳入	歳出
一、町税 一、二〇七千円	一、消費的経費 五、三三一千円
二、地方交付税 二、四三五千円	(イ)人件費 三、四一九千円
三、分担金負担金△四、五六四千円	(ロ)物件費 二、一〇〇千円
四、国庫支出金 一八〇千円	(ハ)その他 △一八八千円
五、県支出金 △二六三千円	二、投資的経費 △三、六二〇千円
六、寄附金 七六六千円	(イ)補助事業 △五、九一七千円
七、地方債△一、三〇〇千円	(ロ)単独事業 二、二九七千円
八、その他 二五五千円	三、公債費 △九〇〇千円
計 △一、五一四千円	四、その他 △二、三二五千円
	計 △一、五一四千円

昭和29年度～昭和31年度の決算並びに昭和32年度予算の概況

区 分	(単位千円)				
	29年度	30年度	31年度	32年度 計 画 額	32年度 予 算 額
①消費的経費	100,774	88,385	93,583	68,672	68,076
(イ)人件費	27,292	30,831	26,216	30,294	29,713
(ロ)物件費	41,262	29,839	22,763	24,213	24,153
(ハ)その他	32,220	27,715	44,604	14,165	14,210
②投資的経費	50,215	28,740	36,721	33,170	32,756
(イ)補助事業	31,253	18,716	30,115	27,180	26,779
(ロ)単独事業	18,962	10,024	6,606	5,990	5,977
③公債費	4,179	6,353	8,648	15,994	15,994
(イ)財政再建債 元利償還金			1,401	10,628	8,868
(ロ)その他	4,179	6,353	7,247	5,366	7,126
④その他	3,246	31,366	34,747	2,031	2,389
歳出合計	158,414	154,844	173,699	119,867	119,215
歳入歳出差引	△30,366	△34,084	△1,231	0	0

区 分	(単位千円)				
	29年度	30年度	31年度	32年度 再 建 計 画	32年度 予 算 現 額
①町 税	62,384	54,260	68,415	69,930	69,471
②地方交付税	10,656	24,595	19,174	17,276	17,276
③分担金負担金	6,621	4,002	4,453	3,111	3,424
④使用料手数料	2,054	2,637	2,878	3,004	2,916
⑤国庫支出金 県支出金	20,319	18,368	15,670	15,866	15,128
⑥寄 附 金	2,469	1,215	2,258	1,416	1,146
⑦地 方 債	13,200	11,100	55,460	9,000	9,000
⑧そ の 他	10,345	4,583	4,160	264	854
歳入合計	128,048	120,760	172,468	119,867	119,215

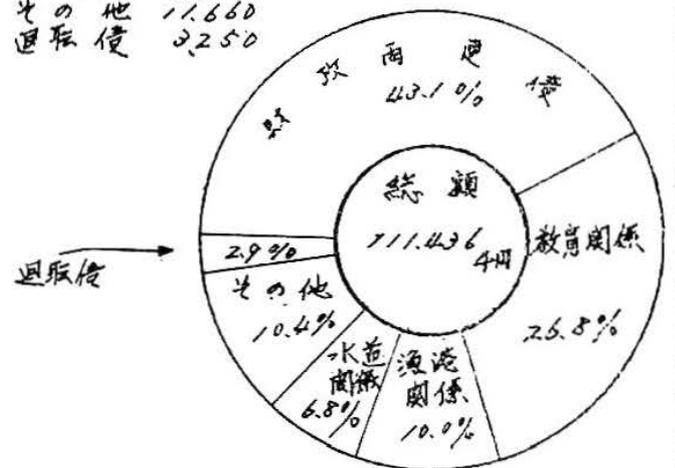
税 収 入 の 状 況



財政再建債	48,000
教育関係債	29,849
漁港関係債	11,127
水道関係債	7,550
その他債	11,660
国庫借	2,250

公 債 費

(昭和31年度末)



昭和三十三年
北海道開拓実習生の募集に
ついて

北海道の開拓を志す青年に北海道開拓管農の方法と農家生活様式を体得させ、入植後の定着と経営発展を図り、もつて開拓事業の推進に寄与させるため、次の要領により昭和三十三年度北海道開拓実習生を募集するので希望者は役場農林係に詳細をお問合せ下さい。

要 領

- 一、第一部生、道立拓植実習場で三十三年三月一日から翌年二月末日まで一年間開拓管農方法に関する学科および実務の教習を受ける。
- 二、第二部生、入植予定地近傍の委託農家において前記一年間農業の実習を受ける。

応募資格

満二十才以上三十才未満の者で身入場し所定の教習を受けることのできるもの
学歴は制限しないが農業に経験を有し身体強健、志操堅固で北海道開拓の熱意を有する者実習場

- 一、十勝拓植実習場
- 二、釧路拓植実習場

経費 寄宿舎に收容し賄費教材費若干を必要とするが舎費授業料は徴收しない

実習終了者の取扱

原則として北海道のあらかじめ指定する開拓地に集団入植させる(配分子定面積約二十町歩)

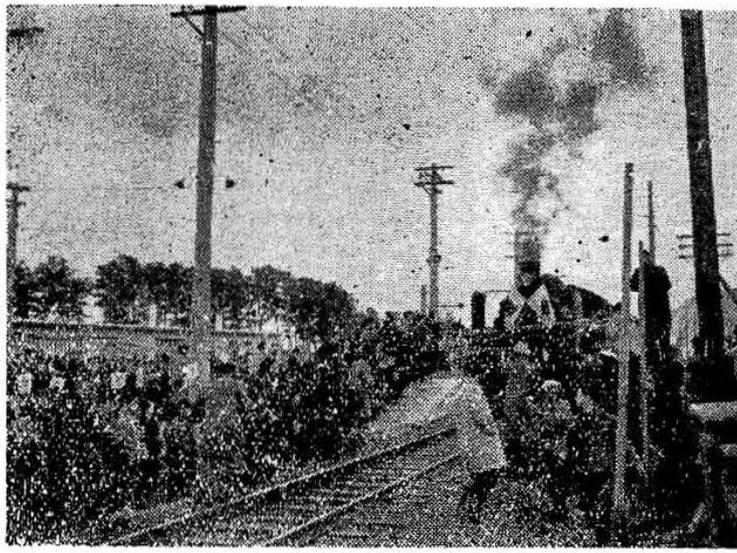
出願期限及び提出先

昭和三十三年一月二十日までに町長経由、県知事に提出すること。

三十余年の念願 越中宮崎駅誕生

宮崎駅の設置が決定した今年の四月から、地元民並びに関係者の、涙ぐましい努力が、ついに十一月二十日宮崎駅が新発足した。

同日午前十一時四十三分発上り、米原行が、すべり込み、宮川友子さん、野田亮子さん、扇谷美保子さんの三名から、同列車機関士、車掌、駅長さんに、それぞれ花束の贈呈があり、地元民の喜びの歓声に送られ、五色のテープを切つて発車した、引続き駅前広場において、開通式が行われたが、功労者へ感謝状と記念品が贈られ、又、十河国鉄総裁、吉田県知事の外多数の祝辞があつて、盛會裡に終了した。



投資的経費の実施状況

区 分	昭和29年度	昭和30年度	昭和31年度	昭和32年度 (予算額)
① 普通建設事業	40,981	16,749	27,864	26,667
(1) 補助事業	22,483	6,725	22,272	20,677
消防自動車購入	2,103	2,045	210	420
小学校改築事業	8,535		7,559	8,525
小学校給食施設整備事業	2,624			600
簡易水道新設事業	6,164	1,701	8,715	(特別会計となつた) 9,800
道路改良事業	744	390	1,586	1,332
夜間航路標識燈	828			
簡易屠畜場新設事業	1,445			
小圃地整備事業		2,240		
濯排事業		200		
水防倉庫新設事業		149		
保育所建設事業			4,203	
(2) 単独事業	18,538	10,024	5,592	5,990
庁舎等改築事業	1,708	102	54	
消防施設事業	729		1,201	280
道路改良事業	625	684	945	620
小中学校増改築事業	7,638	4,323		890
漁港改築事業	4,169	2,700	1,250	2,000
小川改修事業	1,720	1,400	680	
林道改修事業	1,949			
保育所建設事業		181		
診療所買収事業		385		
土地改良事業		249	750	500
農業センター建設事業			712	900
宮崎駅敷地買収事業				300
観光施設整備事業				500
② 災害復旧事業	5,877	8,283	4,664	1,583
(1) 補助事業	5,453	8,283	3,650	1,583
土木災害復旧事業	921	1,481		
耕地災害復旧事業	4,532	6,127	2,128	1,583
奥地林道災害復旧事業		675		
七重滝川災害復旧事業			1,522	
(2) 単独事業	424		1,014	
土木災害復旧事業	424			
支庁舎災害復旧事業			751	
林道等災害復旧事業			263	
③ 失業対策事業	3,357	3,708	4,193	4,470
(1) 補助事業	3,357	3,708	4,193	4,470

むすび

合併後の町財政は合併事業等により、赤字の累積と赤字財政を如何にして維持してゆくかと云うことに非常な苦心と努力が払われ結果として財政の建直しが必要が生れ、財政再建計画の樹立を見ることとなり、これを一転期に近き将来に健全財政の曙光を見出すことゝなつたのであります。今後においても町政は常に町財政の規模に応じたものでなければ

ばならずまた町財政の運営は自主財源を根拠として行わなければならないことであり、従来のいわゆる「な」とかなる「だらう」と云うような一時的な行方で徒らに財源を起債等に委ね利子支払の増大と赤字発生の源を作らうようなことは、町の発展に暗影を投ずるものであるからあくまでも健全財政を堅持することにより、自治体の基礎を確固たるものにし住民の福祉を増進すべきであると思われま

新刊案内

朝日町立中央図書館
樋口茂子

非情の庭
眠狂四郎無頼控四

回想十年第一巻
柴田錬三郎

就職試験予問
小鳥の飼ひ方

動物事典
岡田要監修

随筆宮本武蔵
麻葉3号

噴水
永井龍夫

社会主義
野々村一雄編

日本叢書索引
廣瀬敏編

今日の内
北陸路

放射能の利用と障害
山崎文男外

原子戦争
望みなぎに非ず外

九月のバラ
アンドレモロア

誤報
忘却の花びら2

恋旅時
りんど峠

一匹獅子
野沢純

岩波書店
由起しげ子

岩波写真文庫
山崎文男外

武谷三男外
石川達三

城戸又一編
菊田一夫

陣出達朗
野沢純